

地域密着、
身近な話題を
体験取材!

まちかど

特派員だより

認知症を支える若い人達の活動

9月22日、秋晴れの青空のもと、9時30分、オレンジ色のTシャツを着たランナー16人が市内上野の介護老人福祉施設あけぼのの玄関前から、大勢の入居者の皆さんに見送られてスタートしました。

この日行われたイベントは「Run伴」。Run伴とは、認知症の人やその家族、支援者、地域の協力者がリレーでタスキをつないでいき、認知症への理解と支援の輪を広げていく全国的なイベントです。

この日、全国で3万人以上



イベントの様子



ゴールしたランナー

が参加し、各地で出会いと触れ合いを広めながらそれぞれの地域を走り、ゴールに向かいました。上尾ルートのゴールは上尾市役所東側駐車場に設けたイベント広場です。グループホーム上尾、らぼーる上尾、そしてフルール上尾などの施設を中継し、2時間かけて約8kmの距離を走り抜いた30〜40代の若い世代が、汗だくでクタクタになりながらも、爽やかな笑顔でゴールのテープを切っているのが印象的でした。

認知症は誰にでも起こり得る脳の病気ですが、今、高齢化が進む社会で、そのケアは、多くの場合が家族中心で、個々の大きな負担になっています。

25件のタスキをつなぐ活動は、こととして10年になり、埼玉にタスキが繋がったのは4年前です。まだまだ一般の人には、あまり知られていません。全国で認知症の人は、2025年には約700万人になるといわれ、これから団塊の世代の高齢化も進む中、大きな社会問題の一つでもあります。

オレンジ色のTシャツで走り、認知症支援をPRする姿が上尾の皆さんにも広く伝わることを期待しています。

上尾地区
大成 達夫さん



市民の情報交流スポット



おいでください

■清友会クリスマスチャリティコンサート
12月15日(日)14:00~16:00(開場/13:30)、文化センター 定1,000人 費一般/500円・小学生以下/300円 当日 神田070-5598-2351(当日13:00まで) **ひと言!**今年で22回を迎えます。福祉施設のバザーもお楽しみに。

■チャリティクリスマスライブ・みんなのステージ 12月21日(土)10:00~17:00、コミュニティセンター 定300人 当日 結城和也音楽事務所0771-7989(18:00まで) **ひと言!**皆様方と楽しい時間を過ごしたいと思っております。

■クリスマスダンスパーティー 12月22日(日)13:30~16:00、市民体育館 費

500円 当日 波田野080-5460-2089 **ひと言!**村井ダンス教室共催。クリスマスパーティーです。

■コリーナヴェルクリスマスコンサート
12月22日(日)14:00~16:00、文化センター 定166人 費前売り/1,500円(高校生以下1,000円)・当日/1,800円(高校生以下1,200円) 12月21日(土)までに 望月090-5793-3436(11:00以降) **ひと言!**中島ゆみ子らによるバイオリン、チェロ等のコンサート。

■上尾市民吹奏楽団第33回新春チャリティコンサート 令和2年1月12日(日)17:00~(開場/16:30)、文化センター 費500円(小学生以下、65歳以上、障害者手帳持参の人は無料) 当日 北岸090-8518-0103 **ひと言!**「オリンピック/ミュージカル特集」お楽しみ下さい。

いきいきサークル

●上尾警察署ひまわり少年剣道教室 毎週(火)・(木)①基本組18:00~19:15②防具

組・中学生以上18:00~20:20、上尾警察署道場 定満5~18歳 費スポーツ保険加入料800円 上尾警察署少年係0773-0110(9:00~17:00) **ひと言!**基本から丁寧に教えています。見学・体験大歓迎です。

●泉心流 いずみ吟詠会 毎月2回(月)9:30~11:30、上平公民館 費月額2,000円(維持費月額500円) 宮沢0771-1915 **ひと言!**詩吟の基本から学べます。初心者歓迎、無料体験あり。

●ダンシングチェリー(ストレッチ・ジャズダンス) 毎週(木)15:00~16:30、市民体育館・各公民館 定40~70歳代の女性 費月額3,000円(入会金1,000円) 石坂0726-1105(18:00以降) **ひと言!**ストレッチだけでも可。見学・体験大歓迎。

●上尾失語症アッピー友の会 毎月第1(土)13:00~16:00、市社会福祉協議会ふれあいハウス 定患者と家族 費年額2,000円 山崎0781-9380(15:00以降) **ひと言!**脳卒中や事故で会話が難しい方、元気になりましょう。

定…定員 定…対象 費…費用 持…持ち物 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み

スポットライト

～人・仲間～



なえむら
苗村

ゆきお
幸男さん
(平方在住)

SPOT LIGHT
The life of a great person

とある火曜日の夜。平方にある馬蹄寺近くの下宿公民館から、おはやしの笛と太鼓の音が聞こえてきます。中に入ってみると、小学生らしき子どもたちが太鼓の前に座って熱心にたたいています。子どもたちの後ろで笛を吹いているのは、市登録無形民俗文化財「平方下宿の祭りばやし」の保持団体である「下町はやし連」の苗村幸男さん。そして、太鼓をたたく様子を見守っているのは、同はやし連の皆さんです。

祭りばやしは、笛1人、小太鼓2人、大太鼓1人、鉦1人の5人で演奏する、祭りを盛り上げる民俗芸能です。「平方下宿の祭りばやし」は、平方・下宿地区に伝わる祭りばやしで、現在では3月のフセギ(春の祭礼)、7月の天王様(祇園祭)や「平方のどろいんきよ」(平方・上宿地区の上町はやし連の応援)、10月のお日待ち(秋祭り)や平方地区環境フェスティバルの際に上演されています。

苗村さんが習い始めたのは、一度中断していた祭りばやしを再開した昭和54年のこと。当時は、地区の20代以上の男性

苗村さんが習い始めたのは、一度中断していた祭りばやしを再開した昭和54年のこと。当時は、地区の20代以上の男性



太鼓を練習する子どもたちと下町はやし連の皆さん(笛を吹いているのは苗村さん)

子どもたちに祭りばやしを教え続けて20年

はやし連の人たちと伝統芸能の継承に力を入れる

40人くらいが習っていたそうです。「はやしをやるんだったら、笛をやってみなさい」と思っていた苗村さんは、習い始めてから1〜2年後、笛に誘われます。祭りばやしには譜面がないため、先輩の吹き方や出す音で覚えるしかなかったそうです。「先輩が厳しいということはない。笛を吹くのが楽しかったの、とにかく毎日練習した」と話します。

苗村さんたちの世代がはやし連を担っていく一方で、20年ほど前から小学生に教えています。現在習っているのは、1年生1人、4年生2人、5年生3人、6年生1人の計7人。毎週火曜日の夜に、下宿公民館に集まって練習しています。しかし、「小学校を卒業すると、みんな練習をやめてしまうのが悩み」と苗村さん。それでも「練習の経験があれば、期間が空いてもすぐに感覚を取り戻します」と、教えた子どもたちがいつか戻ってきてくれることに期待しています。

昭和31・32年に行われた上尾町の祭りばやしコンクールで、2年連続で優勝したという下町はやし連。「この取材をきっかけに、歴史ある祭りばやしをやってみたいという子どもや仲間が増えてくれるとうれしいですね」と語る苗村さんは、これからははやし連の人たちとともに、子どもたちに教え続けます。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は11月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



表紙
ふたご兄弟 なかよく元気に育ってね
～保健センター ふたご♡みつごのワクワクルーム～

- とてもかわいらしいふたごですね。子どもたちを見ると癒やされます。(50代女性)
- 市内にふたご・みつごの親たちが情報を共有できる環境があることは、良いことだと思います。(30代男性)

市では、多胎児ならではの喜びや苦労などの情報交換ができる場を提供し、楽しく子育てができるよう支援しています。ぜひ、ご活用ください。



スポットライト
奥山 桃花さん

- 毎月どんな人が紹介されるのか楽しみにしています。11月号に掲載された奥山さんには、今後も頑張ってもらいたいです。(40代男性)
- 自分の住む市に、老若男女問わず、さまざまな分野で活躍されている人がいるのを、誇りに感じます。(60代女性)

スポットライトでは、毎月さまざまな分野で活動・活躍されている市民の人たちを紹介しています。これからもご期待ください。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。